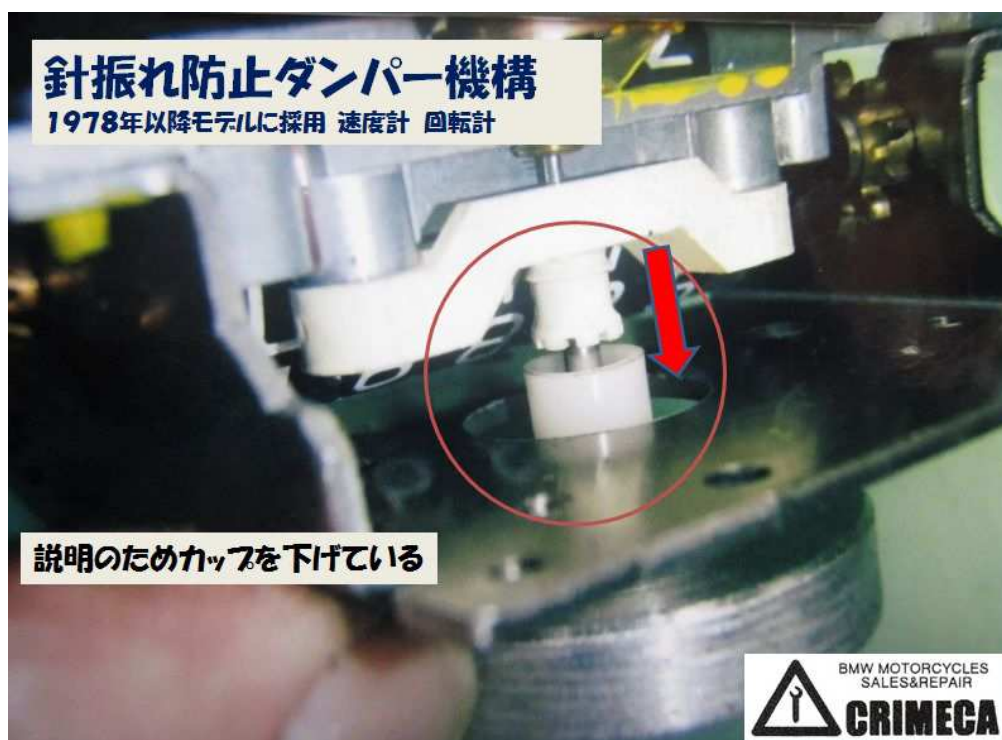


速度計、回転計の針振れ防止機能

旧車の乗ると速度計の指針が「ふらふら、ゆ～らゆら」して正確な数値が判らないことがあります。ベテランに聞くと「中間値」を読むんだと言いますが、、

BMWでいえば1978年以降のモデルには針振れ防止の目的でシリコンオイルを使用したダンパー機構が組み込まれています。古くなるとオイルが抜けてダンパー効果が無くなりますがオーバーホールでオイルを入れ替えると機能回復します。

ダンパー機能採用のメリットは針振れ防止ですがデメリットもあります。指針の追従性が低下することです。急加速で指針が遅れる。急制動で停止しても遅れてゼロになるなどです。ジェントルなBMWでジェントルな乗り方で問題は出ませんが車検ラインでトラブルことがあります。計測処理台数を稼ぐためか初期のテスターと比較して加速度合いが上がったようで指針の遅れを感じます。シリコンオイルの特性か厳冬期に顕著になる印象です。



白色カップにはシリコンオイルが充填されている

タコメーターも同様でR90Sなどはタコメーターのピックアップが鋭くさすがスポーツモデルかと思いますが実はダンパーなしの機械式の特徴のようです。

計器単体で保管する場合はオイル漏れ防止のため天地無用で！

CRIMECA